



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月29日

上場会社名 カルビー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2229 URL https://www.calbee.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 伊藤 秀二
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 菊地 耕一 (TEL) 03-5220-6222
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	125,246	3.5	13,258	12.9	12,819	2.1	8,820	△8.4
2019年3月期第2四半期	121,067	1.9	11,740	13.6	12,560	19.0	9,628	36.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 7,481百万円(△29.2%) 2019年3月期第2四半期 10,563百万円(45.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	65.99	65.98
2019年3月期第2四半期	72.06	72.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	204,449	161,903	75.9
2019年3月期	202,750	160,490	75.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 155,264百万円 2019年3月期 153,931百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	48.00	48.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	258,000	3.8	27,000	0.1	26,500	△3.4	17,500	△9.9	130.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー 社 (社名) ー 、 除外 ー 社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	133,929,800株	2019年3月期	133,921,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	254,472株	2019年3月期	267,747株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	133,663,156株	2019年3月期2Q	133,622,795株

(注) 期末自己株式数には、信託が保有する自社の株式を含めております (2020年3月期第2四半期253,590株、2019年3月期266,915株)。また、同信託が保有する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております (2020年3月期第2四半期262,328株、2019年3月期第2四半期281,416株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2 2020年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数133,675,328株により算定しております。
- 3 当社は、2019年10月29日 (火) に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は、主に海外事業の拡大により、125,246百万円(前年同期比3.5%増)と前年同期を上回りました。海外事業は、英国での2018年10月の事業買収が増収に貢献したほか、「フルグラ」の積極的な販売活動を行った中華圏や、ポテトチップスの新商品等を発売したインドネシアにおいて売上が伸長しました。国内事業においては、当期にスナック菓子の一部商品の価格改定および規格改定を実施する中、価格改定対象商品の売上は減少したものの、それ以外のスナック菓子の需要が増え、国内スナック菓子の売上は伸長しました。

営業利益は、13,258百万円(前年同期比12.9%増)と前年同期を上回り、営業利益率は10.6%(前年同期比0.9ポイント改善)となりました。国内事業においては、物流費や包材費が上昇するも、主にポテトチップス増量に伴い前年同期に悪化した原価等のコストが改善しました。海外事業においては、主に英国の売上拡大と台湾子会社の清算が増益に貢献しました。経常利益は、為替差損544百万円等により12,819百万円(前年同期比2.1%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に連結子会社の株式譲渡による関係会社株式売却益2,378百万円を特別利益に計上していたことから、前年同期比8.4%減の8,820百万円となりました。

	2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期		伸び率 (%)	現地通貨 ベースの 伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
国内売上高	102,586	84.7	103,121	82.3	+0.5	+0.5
海外売上高	18,480	15.3	22,124	17.7	+19.7	+23.3
合計	121,067	100.0	125,246	100.0	+3.5	+4.0

事業別の売上高は以下のとおりです。

売上高	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
① 食品製造販売事業	119,627	124,566	+4.1
国内食品製造販売事業	101,146	102,442	+1.3
国内スナック菓子	88,192	89,229	+1.2
国内シリアル食品	12,408	12,599	+1.5
国内その他食品	546	613	+12.3
海外食品製造販売事業	18,480	22,124	+19.7
海外スナック菓子	16,299	18,858	+15.7
海外シリアル食品	2,181	3,265	+49.7
② その他事業	1,439	679	△52.8
合計	121,067	125,246	+3.5

① 食品製造販売事業

(国内食品製造販売事業)

・国内スナック菓子

国内スナック菓子の売上高は、前年同期に比べ増収となりました。ポテトチップスは、当期に実施した価格改定の影響を受けるも、価格改定対象外商品の売上が好調に推移し、ポテト系スナックの増収に貢献しました。また、小麦系スナックの売上が「かっぱえびせん」や「サッポロポテト」等の伸長により増加しました。

国内スナック菓子の製品別売上高は以下のとおりです。

売上高	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
ポテト系スナック	64,604	64,904	+0.5
ポテトチップス	39,967	40,375	+1.0
じゃがりこ	18,755	18,604	△0.8
Jagabee/じゃがポックル	5,881	5,924	+0.7
小麦系スナック	10,259	10,795	+5.2
かつばえびせん	4,639	4,950	+6.7
サッポロポテト等	5,619	5,845	+4.0
コーン系・豆系スナック	7,907	7,829	△1.0
その他スナック	5,420	5,700	+5.2
国内スナック菓子 計	88,192	89,229	+1.2

- ・ポテト系スナックの売上高は、前年同期に比べ増収となりました。ポテトチップスは当期に実施した価格改定の影響から、主に「うすしお味」等の定番品の売上が減少するも、価格改定対象外の「ポテトチップスギザギザ」等の売上が拡大しました。「じゃがりこ」は、定番品の売上が好調に拡大するも、前年同期に全国発売した「とうもりこ」「えだまりこ」の売上が減少しました。Jagabee/じゃがポックルは、Jagabeeは売上不振が続いたものの、じゃがポックルの売上が拡大しました。
- ・小麦系スナックの売上高は、前年同期に比べ増収となりました。需要好調の「かつばえびせん」に加え、コラボレーション企画商品を投入した「サッポロポテト」の売上が増加しました。
- ・コーン系・豆系スナックの売上高は、ギャレットポップコーンショップスのライセンス契約終了の影響により、前年同期に比べ減収となりました。
- ・その他スナックの売上高は、個食サイズの「miino（ミーノ）」の売上が伸長し、前年同期に比べ増収となりました。

・国内シリアル食品

国内シリアル食品の売上高は、前年同期に比べ増収となりました。「フルグラ」定番品等の売上が減少するも、「フルグラ糖質オフ」の売上が拡大したことに加えて、「フルグラ」に続く新ブランドとして当期発売した栄養機能食品「Granola+（グラノーラプラス）」が売上に貢献し、国内消費はほぼ横ばいとなりました。また、中華圏の小売店向けの需要は拡大しました。

(海外食品製造販売事業)

海外食品製造販売事業の地域別売上高は以下のとおりです。

売上高	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
北米	5,178	4,884	△5.7
中華圏	5,177	6,131	+18.4
英国	827	2,931	+254.4
インドネシア	1,855	2,435	+31.3
上記以外	5,441	5,741	+5.5
海外食品製造販売事業 計	18,480	22,124	+19.7

*1 中華圏：中国、台湾、香港

*2 上記以外：韓国、タイ、シンガポール、フィリピン、豪州

- ・北米の売上高は、オーガニック豆を使用した「Harvest Snaps」は、販売促進活動を強化し拡大するも、既存の「Harvest Snaps」の需要低調が継続し、前年同期に比べ減収となりました。
- ・中華圏の売上高は、シリアル食品「フルグラ」のEコマースによる販売が拡大したことにより、前年同期に比べ増収となりました。
- ・英国の売上高は、2018年10月に事業買収したポテトチップスの製造・販売を行うSeabrook Crisps Limitedの売上が貢献し、前年同期に比べ大幅に増収となりました。
- ・インドネシアの売上高は、ポテトチップスの既存商品「Potabee」の売上拡大に加え、フラットタイプのポテトチップス新商品「Japota」の売上貢献により、前年同期に比べ大幅に増収となりました。
- ・その他の地域の売上高は、主として豪州での豆系スナック菓子「Harvest Snaps」の売上が拡大し、前年同期に比べ増収となりました。

② その他事業

その他事業には、主に物流事業、販売促進ツール関連事業が含まれています。2018年9月に販売促進ツール関連事業を行う連結子会社の全株式を譲渡したことから、前年同期に比べ大幅に減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,698百万円増加し、204,449百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金ならびに有価証券が増加したことによるものです。

負債は、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ285百万円増加し、42,546百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,412百万円増加し、161,903百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同等の75.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8,153百万円増加し、43,579百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主として売上債権が減少したことにより前年同期と比べ12,870百万円収入が増加し、25,154百万円の純収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有価証券の償還による収入が増加したことにより前年同期と比べ4,032百万円支出が減少し、10,567百万円の純支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として短期借入金による収入が減少したことにより前年同期と比べ4,703百万円支出が増加し、6,125百万円の純支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に発表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,992	22,852
受取手形及び売掛金	39,736	27,431
有価証券	42,760	47,616
たな卸資産	11,309	13,472
その他	5,067	4,117
貸倒引当金	△8	△0
流動資産合計	111,858	115,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,883	28,332
機械装置及び運搬具（純額）	29,811	29,278
土地	11,391	11,347
建設仮勘定	1,224	2,088
その他（純額）	1,240	1,169
有形固定資産合計	72,552	72,216
無形固定資産		
のれん	5,688	4,892
その他	2,016	1,912
無形固定資産合計	7,704	6,805
投資その他の資産		
投資その他の資産	10,693	9,995
貸倒引当金	△59	△60
投資その他の資産合計	10,634	9,935
固定資産合計	90,891	88,957
資産合計	202,750	204,449

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,987	11,541
短期借入金	1,027	1,036
未払法人税等	5,478	3,594
賞与引当金	4,004	3,608
役員賞与引当金	67	118
株式給付引当金	35	—
その他	14,442	14,456
流動負債合計	34,043	34,355
固定負債		
役員退職慰労引当金	286	325
役員株式給付引当金	92	130
退職給付に係る負債	6,531	6,405
資産除去債務	522	524
その他	783	804
固定負債合計	8,216	8,190
負債合計	42,260	42,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,044	12,046
資本剰余金	4,786	4,779
利益剰余金	137,453	139,845
自己株式	△981	△933
株主資本合計	153,303	155,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	467	396
為替換算調整勘定	278	△720
退職給付に係る調整累計額	△119	△149
その他の包括利益累計額合計	627	△473
新株予約権	3	—
非支配株主持分	6,555	6,638
純資産合計	160,490	161,903
負債純資産合計	202,750	204,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	121,067	125,246
売上原価	67,733	69,241
売上総利益	53,333	56,005
販売費及び一般管理費	41,592	42,746
営業利益	11,740	13,258
営業外収益		
受取利息	62	69
受取配当金	20	21
持分法による投資利益	0	26
為替差益	822	—
その他	129	202
営業外収益合計	1,035	319
営業外費用		
支払利息	35	62
為替差損	—	544
減価償却費	46	61
たな卸資産評価損	79	—
その他	54	89
営業外費用合計	216	758
経常利益	12,560	12,819
特別利益		
固定資産売却益	21	6
投資有価証券売却益	33	1
助成金受入益	—	170
関係会社株式売却益	2,378	—
事業整理益	488	—
その他	—	3
特別利益合計	2,922	182
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	106	105
店舗閉鎖損失	—	136
減損損失	813	—
役員退職慰労金	350	—
関係会社株式売却損	24	—
その他	2	1
特別損失合計	1,301	243
税金等調整前四半期純利益	14,181	12,757
法人税、住民税及び事業税	4,322	3,191
法人税等調整額	182	674
法人税等合計	4,505	3,866
四半期純利益	9,675	8,891
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	70
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,628	8,820

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	9,675	8,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△71
為替換算調整勘定	736	△1,307
退職給付に係る調整額	119	△30
その他の包括利益合計	887	△1,409
四半期包括利益	10,563	7,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,350	7,719
非支配株主に係る四半期包括利益	213	△237

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,181	12,757
減価償却費	3,871	4,060
減損損失	813	—
のれん償却額	283	331
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△421	△395
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△33	53
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△2	5
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	45
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△76	△205
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	14	12
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△154	38
受取利息及び受取配当金	△82	△91
支払利息	35	62
為替差損益 (△は益)	△737	397
助成金受入益	—	△170
事業整理益	△488	—
持分法による投資損益 (△は益)	△0	△26
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,387	△1
固定資産売却損益 (△は益)	△17	△6
固定資産除却損	106	105
売上債権の増減額 (△は増加)	2,401	11,973
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,643	△2,306
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,196	2,749
未払金の増減額 (△は減少)	△1,377	△785
その他	1,700	1,584
小計	17,178	30,183
利息及び配当金の受取額	60	89
利息の支払額	△36	△60
法人税等の支払額	△4,918	△5,057
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,283	25,154

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,017	△3,832
有形固定資産の売却による収入	31	16
無形固定資産の取得による支出	△279	△305
無形固定資産の売却による収入	0	—
有価証券の取得による支出	△16,832	△34,824
有価証券の償還による収入	4,000	28,441
投資有価証券の取得による支出	△7	△8
投資有価証券の売却による収入	47	5
貸付けによる支出	△920	△700
貸付金の回収による収入	2,378	800
定期預金の預入による支出	—	△944
定期預金の払戻による収入	266	623
差入保証金の差入による支出	△45	△54
差入保証金の回収による収入	38	45
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△823	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	3,169	—
助成金の受取額	—	170
その他	393	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,600	△10,567
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,241	38
自己株式の取得による支出	—	△0
ストックオプションの行使による収入	16	3
非支配株主からの払込みによる収入	—	323
配当金の支払額	△5,616	△6,422
非支配株主への配当金の支払額	△10	△11
リース債務の返済による支出	△53	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,421	△6,125
現金及び現金同等物に係る換算差額	266	△308
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,471	8,153
現金及び現金同等物の期首残高	42,195	35,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,723	43,579

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社の連結子会社であるCalbee America, Incは、米国の製菓会社Warnock Food Products, Inc(以下、Warnock社)を買収することを目的として、主要株主からWarnock社の発行済株式の80%を取得する株式売買契約書を締結し、2019年10月25日付で株式を取得しました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 Warnock Food Products, Inc

事業の内容 スナック菓子の製造販売

② 企業結合を行った主な理由

Warnock社は1986年に創業し、ポテトチップス、トルティーヤ、パフスナックなど多岐にわたるスナック菓子の受託製造を行う米国スナック菓子メーカーです。世界最大のスナック菓子市場である米国において、同社のスナック菓子の商品開発力と販売網の活用を通じて、商品ポートフォリオを拡大します。さらにCalbee North America, LLCとの協業により、北米ブランドのすそ野を広げ、当社グループの北米事業の拡大を目指します。

③ 企業結合日

2019年10月25日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得した議決権比率

80%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるCalbee America, Incが現金を対価として取得したことによるものです。